

# 感染症発生状況

令和元年 10 月 11 日

幼稚園・保育園・認可外保育施設の長 様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

令和元年 9 月 30 日（月）～10 月 4 日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点 23 園の対象園児数（定員）は 2,635 名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】 368 名 【職員】 7 名

1 日あたりの延べ欠席者数 【園児】 73 名（前々週の 1 日あたりの延べ欠席者数 60 名）

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】 症状：熱（190 名）、咳・鼻水（107 名）、下痢・腹痛（15 名）、嘔気・嘔吐（7 名）

疾病別：気管支炎・肺炎（44 名）、溶連菌感染症（11 名）、インフルエンザ（9 名）、おたふくかぜ（8 名）

【職員】 症状：熱（6 名）

**インフルエンザ、溶連菌感染症、RSウイルス感染症、マイコプラズマ、おたふくかぜなどの流行があります。**

**各疾患の流行地域は下記を参照ください。**

## 【症状別の発生状況】

**気管支炎・肺炎** 厨川、河北、盛南、都南地域で減少。玉山、河北地域で増加しました。

溶連菌感染症 厨川、地域で減少。河北、盛南、都南地域で増加しました。

インフルエンザ 厨川地域で増加しました。

おたふくかぜ 盛南、河北地域で増加しました。

## 【県の状況（9/23～9/29）】

溶連菌咽頭炎は、前週より増加しました。例年、秋から冬にかけて流行するので注意が必要です。本疾患は、発熱や全身倦怠感、咽頭痛を主症状とする細菌感染症で、肺炎や腎炎などの合併症を引き起こす場合もあります。予防には、手洗いとうがいの励行、患者との濃厚接触を避けることが重要です。

RSウイルス感染症は、前週よりやや減少しましたが、中部地区と盛岡市で報告が多くなっています。本疾患は呼吸器感染症であり、症状は風邪様症状から肺炎まで様々ですが、初感染の乳幼児や高齢者は重症化しやすいので注意が必要です。予防には、咳エチケットと手洗いの励行が重要です。

手足口病は、前週より減少しましたが、宮古地区で報告が多くなっています。原因となるウイルスは複数あるので、数回かかることがあります。予防には、患者との濃厚接触やタオルの共用を避け、手洗いを励行することが重要です。

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話 613-8347（ダイヤルイン）ファックス 652-3424】